

会 議 録

- 1 会議名
第8回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議
- 2 議題
 - 1) 開会（公開）
 - 2) 議題（公開）
 - 個別施設のデザインについて
 - （上越市新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想（案））
 - 駅舎デザインについて
 - 3) その他
 - 4) 閉会
- 3 開催日時
平成22年11月22日（月）午後2時から
- 4 開催場所
ラーバンセンター 第4研修室
- 5 傍聴人の数
2人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した人（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）
 - 委員 伊藤えり子、大島政義、飯塚むつこ、田中弘邦、水野一郎

 - オブザーバー 奥野賢新潟県都市政策課長（代理：葦沢学宏同主査）、田村定文新潟県交通政策課長（代理：小林佳布同主任）、西田 聡 JR東日本新潟支社総務部企画室長（代理：斎藤浩同主席）、桐山昭一新潟県上越地域振興課長（代理：高橋宏同主任）

 - 事務局（上越市） 柴山弥松新幹線・交通政策課長、渡来美香同主任、市川公男新幹線新駅周辺整備事務所長、池田忠之同係長、田中幸治同主任

8 発言の内容

(1)開会 (新幹線・交通政策課長より挨拶)

(2)議事

個別施設のデザインについて (事務局より説明)

(水野座長) これらの市民から意見を募集した上越市新幹線周辺地区まちなみ形成構想の案にもとづいて意見を求めたわけですが、ご意見はありますか。

3枚目の円グラフでは概ね良い評価を受けていますが、2枚目の方に主な意見という形で個別にいろいろな意見があるようです。いかがでしょうか。

市民に対して答える機会がありますか。

(事務局) 今回の市民意見募集に関して個別にご回答はしないということで、意見を募集するときにお断りをさせていただいております。

その代わりということではありませんが、結果については公表させていただくことにさせていただいております。

(水野座長) 伊藤さん、7番目のところですが、植栽計画について3つ意見がでています。これについていかがでしょうか。

(伊藤委員) ここにいただいた意見というのは、この会議の場で解消していくという形でしょうか。

(事務局) 取り入れるべき、あるいは変更修正すべきご意見がございましたら、まちなみ会議でご議論いただきたいと思います。

(水野座長) 最初の桜の開花時期については、この中でも何回か議論しています。まんべんなくではなくて、強い個性を出したい。そしてもうひとつは、四季の緑を大事にしたい。もうひとつは灌木で少し処理をしたいということがあります。これらについてまちなみ会議で検討しました。

(伊藤委員) 16ページの資料の中にあるように、灌木とか低木及び緑で、開花時期を分散させるということになっています。

(事務局) 先ほど事務局で読みあげました自由記載の意見について、これまでまちなみ会議で議論をかわしてきていただいておりますので、次回の会議ではその内容をふまえたコメントを添付させていただきたいと思っております。

また今日お集まりのみなさんから、こうした方がいいという新たな視点でご意見をいただければ、それも合わせてコメントを作らせていただきたいと思いますのですがどうでしょうか。

(水野座長) それでよろしいですね。

竹林は維持管理が難しいのではないかとありますが、東京とかではずいぶん竹林が増えているんですね。

(伊藤委員) 私が東京にいました頃、よく竹林を公園などで見ました。また、大きい会社の植栽に竹林が結構取り入れられていたんですが、やはりきれいに維持するには、1週間に3回とか4回の割合で手入れが必要になります。

限られたスペースで植栽されますので、夏場は水が減ってしまいます。そのため自動散水システムにしたり、水をやるとか、管理面はかなり注意してやらなければいけないと思います。

(水野座長) 難しいという感じではないですね。

(伊藤委員) 不可能ではないです。竹林にしたら、毎日葉っぱが落ちるんですね。落葉樹と違って1年中ちらちらと。それが落ちて風に吹かれると小さい溝にたまるので、植栽のスペース以外のところも考えないといけないと思います。

(水野座長) 飯塚さん、その次のサイン計画で「東西口のサインの色分けは、障がいのある方に優しくないのではないか」という意見が出ていますが、この色分けとの関係というのは分かるようでわかりにくいのですが。

(飯塚委員) この意見というのは、おそらくこの印刷した資料を見ておっしゃったんですね。

印刷した資料でみると、この小さな文字というのは、下の方が読みにくくなっているんで、その辺で言われたと思うんです。ですが原版はもうちょっと色が出ていますし、小さな読みにくい文字は明暗差をつけることによって視覚障がいのある方でも見分けることができるので、もっと具体的な設計段階の検討になってきましたら、その配慮は十分できるのではないかと思います。

(水野座長) 実施の段階のディテールのところで処理できると。

(飯塚委員) 東西でそれぞれ緑と青に、自然と都市の色分けはそれぞれのシーンを分けているので、それはそれでいいと思います。

(水野座長) 次の10番ですが、エキナカとか物産とか、これはまだ明確に整備できるというわけではありませんが、意見が出てい

ます。

自由通路に自転車が通れるかについてどうですか。

(事務局) 現在のところ通れる計画にしています。ただ直江津駅の自由通路と同じように、安全性の問題から自転車に乗って走るということではできません。エレベーターに乗せて1階から2階まで自転車を上げて、そこを押す形で通行して東西の往来が可能な計画にしています。

(水野座長) 次の駐輪については。

(事務局) 駐輪についても、駐車場の整備と合わせて考えています。ただ場所など具体的なことはまだ決まっています。

(水野座長) 高架橋の下などいっぱいあるし、議論していくと可能なスペースはありそうですね。

その他のところで駅前の除雪計画等については、これは議論しておりますね。

交番についてはいかがでしょう。

(事務局) 交番についても警察の方と協議を進めておりますが、設置の可否ですとか場所等については具体的にはなっておりません。

(水野座長) 観光案内所等は一応エキナカに考えていると。立派な構想だが予算は大丈夫かとあります。答えにくいですね。

(事務局) 新年度に詳細設計に入ってまいります。予算の想定はしていますが、どのような点に重点的に配慮するかというのは、詳細設計を元にこれから協議していきたいと思えます。

まちなみ検討会議の皆さんからいただいた意見を元に詳細設計の詰めをしていきたいと思えますのでよろしく願いいたします。

(水野座長) 最初の市民意見、個別施設のデザインのところで、その他に何かありますでしょうか。

(伊藤委員) 質問ですけれども、この構想案では私が前々回出したトイレの設置はどうなっていますか。

(事務局) トイレの設置については、まずエキナカの部分に1か所設置する計画にしております。伊藤委員からいただいた、それ以外に広場にも是非設置した方がよいというご意見については、設置をする担当課と引き続き協議をしています。

基本的には防犯面、安全面といった点で難しい状況ではありますが、利便性もありますので、引き続き検討させていた

だきたく課題と考えております。

(大島委員) まちなみ形成構想については、おおかたすばらしい評価を得たのではないかと思います。具体的な面でいろいろとでありますが、私は先ほどの話の中で、エキナカに乗車するまでの休むスペースがほしいという意見について、対応の仕方、集客の面で面倒になると思います。その辺あたりを考えなければならないのではないかと思います。

(事務局) 自由通路、エキナカ計画について、市民意見募集で寄せられた主な意見の中に「エキナカに乗車までのくつろげるスペースがあるとよい」という内容があります。

第7回会議でエキナカのイメージを出ささせていただきましたが、このスペースの取り方については、鉄道・運輸機構はじめJRとの協議が必要です。

我々としては獲得したいスペースがあるということに関係機関に申し上げ、その使い勝手について主張していきたいと思っております。

(水野座長) 新幹線駅に行くと、50人、100人の学校や職場の団体がどこに行くのか、個々のお客さんがどこに行くのか、二つあると思います。団体の子供たちだと通路にどこでも座って平気ですが、だんだんちゃんとした場所を作ってくれという要求も増えていると思います。

そこで、あるときにはここがそういう場所になるというような臨機応変さが自由通路の中にあるといいかもしれません。通路だけにしておくにはもったいないような広さがありますから。

(田中委員) しかしそれはいろんな形で、できた上で使い方がありますからね。今ここでいうことではなくて、実際に使うときにどういう使い方でもできるわけです。通路とは言っても。

(水野座長) 結構自由通路はフレキシビリティがあると。

(飯塚委員) ユニバーサル的に言えば自由通路にベンチを置くのも配慮になるので、取り入れていただければと思います。長い通路を渡っていくにしても、高齢者の方が「ちょっとお休みしましょう」という配慮があると、そういうちょっとした心配りがあるのが上越駅ではないかと思います。

(水野座長) 自由通路が上越のリビングルームになるかもしれません。そういうふうにするか、いろいろな知恵を入れながら実際の段階では使っていきたいと思っておりますね。

市民の方はこの資料を1回見ただけでいろんな意見を出されている。よく見ていただいているという感じがします。

駅舎デザイン（上越市より説明） について

（水野座長） 最初に3枚目のアンケートの結果ですが、A案の評価が多い。B案とC案はそれほど差がない。この辺はそれぞれの感性、価値観のようなものが出ていると思います。

A案について意見が寄せられていますが、これについて感想、意見等ございましたらお願いします。

A案は「桜と雪」という、上越が持っている自然をテーマにしています。一方で、やはり上越という強い文化みたいなものがあるのではないかと思います。そこでB案では櫓を取り入れています、それは少し重いのではないかとか、暗いとか、高田だけが取り上げられちゃだめだとかいろいろ議論が出てくる。

そういう意味でこの会議でも検討を重ねた結果、桜をテーマとして出してきました。たぶん全てを表現することはできませんが、桜のガラスパネルに文字で高田、上越、妙高まで含めて表現できないかということがあり、そういうものを付け足していけばかなり変わった駅ができると思います。

（飯塚委員） それぞれとてもいいデザインですが、上越は他の駅と違うと思います。糸魚川駅のデザインを見ると、ヒスイとか雁木風景があり、上越と雁木はクロスするところがあると思いました。糸魚川駅がどのように採択されるかわかりませんが、やっぱり近隣とは違うということを出していきたいと思います。実際は全部できてみないと分からないのですが。

それと、全体を通してインパクトが弱いとか、もうちょっと斬新なデザインをという意見が出ています。斬新なデザインの上越らしさという方法もありますが、外と中のインパクトを変えて、駅を降り立ったときにすごいなという印象を与えることも一つだと思います。上越らしい色味とかを持ってきて、杉の伝統とかを使うことで上越らしさを演出し、他の駅と差別化するのもひとつの持っていくかただと思うので、外から見たインパクトだけにこだわらないことも一つではないかと思います。

（水野座長） 確かに新幹線を降りてホームに立った瞬間、何を感じるか。それからコンコースから駅へ降りていって町へ出るまで

のプロセスで何を感じるか。その辺のインテリアはすごく大事です。少し違うなっていう。旅人をどうお迎えするか、地元の人たちが「やっと帰ってきたな、ふるさとに帰ったな」という思いを起こさせるか。そういう意味で「記憶に残る駅」というコンセプトにしたわけです。

前から言っているとおり、上越の駅が糸魚川や飯山や新黒部と違うのは、新幹線ホームの前に都市施設があることです。ロータリーや八角堂より、新幹線自体は少しバックにあるというのはだいぶ違います。

高岡も黒部も糸魚川も飯山も新幹線駅舎が前面にあるために、そこでデザインを頑張らなきゃいけない。要するに新幹線のホームで自己表現をしなきゃいけない。ところが新幹線自体はどこの駅でも同じ機能である。

その矛盾をどうやって解消するかということがありますが、金沢の場合のドーム、上越の場合の八角堂と、前面に自己主張するものがあるということでだいぶ差がある。

在来線側は離れているため新幹線駅はよく見えないという状況です。遠くからは見えますが。ただし光のテラスがありますので、その辺の差はあると思います。

そういう意味では、3案ともそれほどきつい個性を出しているわけではないので、票が割れるのもそんなところかなという感じはします。

(大島委員) 当初から桜をメインテーマとして検討してきたわけですが、その意味からA案の積極意見が多いのではと思います。また、プラットホームに降りた時、雰囲気などの問題点を先ほどおっしゃったような内容で考えていけば、素晴らしいものになるのではないかと思います。

(水野座長) どこの新幹線の駅にもないものがそのところだと思います。

(伊藤委員) 私もA案の桜が今までのコンセプトに一番合っていると思います。B案とC案もたいへん結構ですけども、やはり場所がどうしても限定されてしまうのではないかと思います。B案は高田のイメージが強くて、C案は高原というイメージが強い。A案が一番場所を限定されないという意味でも一番適していると思います。

(水野座長) 新幹線駅というのは確かに場所を限定しないでもう少し広い範囲で考える必要もある。「直江津を考えて」とのご意見も出たようですが、それは柏崎や妙高の方まで広い範囲で

含めて、この駅を利用するという広域的な発想も必要だということでしょうね。あまり限定的にするとしんどいのかもしれません。雁木も広い範囲で使われているということもあります。

私の意見で言うと、たとえば三重櫓というのは三重櫓がすごいのであって、それをここに持ってくるのは感心しない。「ちゃんとした本物があるのに、何回来てもここに三重櫓がある」なんて言われそうな感じがします。このあたりはどのように考えるか難しいですけども。

今日はいろいろご意見をお伺いしました。今日はメンバーでお休みの人が多く、今日決めるわけにはいかないので29日に決めたいと思います。この会議全体の意見ですね。

あと、鉄道・運輸機構からいただいた案が100%オーケーではなくても、「ここの部分少し修正してください」とか、「ここのところは何も計画が書いてないけど、やってください」とか、たとえば先ほどのインテリアに杉の木を使いましょうという話はどこにも出てこないで、そういうのは使うことをご検討いただきたいとか、補足事項とか付け足し事項をつけてお答えするのがいいと思います。

そういう意味で、ここに書いてある意見もいくつか採用して行って、それを入れながら決めていくと。そんなことができるといいなと思っています。

それとこの前のフォーラムでも出ましたが、東西違う駅舎デザインにしたらどうかということについてはいかがでしょうか。たとえば東口は都市側のまち的な雰囲気、西側は自然的な雰囲気というふうに、東西同じじゃなくてもいいというような意見です。今日のこの意見の中にも、「東西口でそれぞれの役割を想定しているならば駅舎の壁面もそれぞれで変えられないか」という意見も出ています。

フォーラムの会場では、まちなみ会議で検討するとお答えしました。鉄道・運輸機構は日本全国の新幹線の駅舎を建設していますが、機構へお聞きしたら、そうやってうまくいくことはほとんど考えられないとの答えをいただきました。

どうするかは別にしまして、こんな感じで考えていきたいと思っています。

(伊藤委員) たたとえば西口をA案にして、東口をB案にするというような大胆な考えでしょうか。

私は両方一緒でもよいと思いますが...

(田中委員) それは変わってもいいですよ。自然の妙高を見る、もう片方は町を見る、日本海を見る、海、妙高、まちなみを見る。そういう考え方をすればデザインが変わっても自然。

(水野座長) あえていうと、清水の舞台から飛び降りるというような勇気がいるだろうと思います。

全然違う話ですけど、昔、東西に軸のある街路があり、その両側に街路樹を植えることになりました。街路樹の選定を任されたときに、南側の街路樹と北側の街路樹を変えました。南側を落葉にして、北側を常緑にしたんです。しかしやってみてわかったんですが、左右違うのはなにかバランスがとれないものですね。落葉樹の方は樹の成長が早くて大きくなるが、常緑の方は低い。色が違うだけじゃなく高さも違う。おもしろいっていえばおもしろいけど、落ち着かないって言えば落ち着かない。そんな経験をしたことがあります。

これについても29日に決めたいと思います。どうするのか考えておいていただけたらと思います。

この駅舎デザインについても、アンケートを見ると市民の方々の期待の大きさを感じます。600から700件も意見が出ていると、この会議の責任も大きいとっております。いずれにしろみんなで決めていきたいと思います。

- (3)その他
- ・ 次回は11月29日に開催。場所は上越商工会議所を予定。
 - ・ 駅舎のデザインについてまちなみ会議で結論を出す。
 - ・ その後市長に答申し、県に報告する。
 - ・ 鉄道・運輸機構には12月中旬に回答。
 - ・ 年内中に第10回まちなみ会議開催予定(最終)。

(4)閉会 (事務局より開会)

9 問合せ先

総合政策部新幹線・交通政策課 TEL: 025-526-5111 (内線 1851)

E-mail: kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。

第8回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

出席者名簿

氏名	在籍等	出欠等
飯塚 むつこ	会社経営、カラーコーディネーター	出席
伊藤 えり子	(株)英香園取締役	出席
内山 勇人	上越青年会議所直前理事長	欠席
大島 政義	和田地区振興協議会前会長 上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会会長	出席
黒野 弘靖	新潟大学工学部建設学科 准教授	欠席
関 由有子	せきゆうこ設計室主宰、一級建築士	欠席
田中 弘邦	上越商工会議所会頭、上越観光コンベンション協会会長	出席
平野 仁	会社役員	欠席
水野 一郎	金沢工業大学環境・建築学部教授	出席
本山 雅彦	(株)JTB 関東上越支店長	欠席

オブザーバー

氏名	在籍等	出欠等
奥野 賢	新潟県土木部都市局都市政策課長	欠席
蕨沢 学宏	〃 〃 〃 主査	代理
田村 正文	〃 交通政策局交通政策課長	欠席
小林 佳布	〃 〃 〃 主任	代理
西田 聡	JR東日本新潟支社企画室長	欠席
齋藤 浩	〃 〃 〃 主席	出席
津金 昭一	鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長	欠席

上越市(事務局)

氏名	在籍等	出欠等
竹田 淳三	総合政策部長	欠席
柴山 弥松	〃 新幹線・交通政策課長	出席
吉田 正典	〃 〃 副課長	出席
伊藤 伸	〃 〃 係長(新幹線・並行在来線担当)	欠席
渡来 美香	〃 〃 主任	出席
市川 公男	〃 新幹線新駅周辺整備事務所長	出席
池田 忠之	〃 〃 係長	出席
田中 幸治	〃 〃 主任	出席
委託業者	八千代エンジニアリング株式会社	欠席